

紫 笥

第46号 平成15年刊



(吹奏楽部第20回定期演奏会)

東京都立文京高等学校同窓会誌

母校の重点支援校指定を

共に慶びましょう



同窓会会長 榎本 幸 三(四期A)

母校が重点支援校に指定されました

都立高校の統廃合を含めた学校改革が強力に進められている現状の中で、文京高校が重点支援校に指定されるということは、母校の存続、今後の発展に大変意義あるビッグなニュースと受け止めました。高木校長先生はじめ諸先生方のご努力の賜物と感謝申し上げますとともに、心よりお喜び申し上げます。

校長先生より、サテライト講習実施にご協力ありがとうございましたと丁寧なお礼を頂きました。重点支援校指定の査定項目の中で、文京自体の自主的努力の評価の際に、サテライト講習実施校であることが高く評価されたと思いますとのことでした。

サテライト講習への協力

昨年、サテライト講習を導入したので資金面で同窓会の協力が得られないかとの要請を受けたとき、サテライト講習とは何か、どれだけの成果が期待できるのかなど、役員・常任幹事会で検討しましたが、石橋を叩いて渡らずとせず、数年前であれ進学率向上への一石であればと、予備費の予算より支出を決

めました。その判断が、重点支援校指定に大きさでも役立ったのであれば、同窓会も母校の発展に寄与できたものと、判断に誤りもなかったことに安堵いたしております。

運営資金へのお振込み

ありがとうございます

別頁に詳細が掲載されておりますが、運営協力金・奨学金・寄付・会報名刺広告掲載など延べ二九〇口、一七三万余円のご協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

文京の卒業生は、最盛期には十クラス四百人以上おりましたが、近年は七クラス二八〇余名で推移しており、入金金の値上げも昨今の経済環境により控えており、入金金頼りの運営に陰りを感じております。さらに、先輩の役員方が、ある程度の資金を蓄積し金利による運営を意図し営々と蓄積した四千万円の資産が、本来であれば五割の金利で二百万円を生み、会報一回分費用に充当できている見込みだったのでありますが、景気低迷とはいえゼロ金利時代となり、同窓会にとっては大きな犠牲を強いられており、積極的な母校支援、手

応えのある同窓会活動をするには、予算は大変組みにくい情勢にあります。

運営費(年額三千円より)のご協力を!

同窓会としても、ただ手を拱いていた訳ではなく、名簿の管理・作成を印刷業者にすべてを任せていた頃は、毎年二百数十万円掛かっていた支出を、ここ十年あまりで、名簿訂正・版下作業をワープロ管理を経てパソコン管理に移行し自己作業として毎年約百万円の支出削減をしてきました。また、一過性の郵便番号七桁化なども、従来ですと変更作業、改版などで百万円近くは掛かる変更作業でしたが、すべて同窓会の自己作業として数万円の事務用品で済ませました。このように同窓会としてできることはボランティアの心づもりに基づき努力を重ねて参ります。今後とも、運営資金へのご協賛をよろしくお願い申し上げます。

新メディア時代に、前向きな姿勢で

同窓会は、クラス会、同期会の延長線にあると言われておりますが、基本的に大きな違いがあります。旧制四期と今年三月に卒業した五五期と合わせて五九九年間にわたる集合体であることです。三世代違いの同窓会の運営は、どの世代からも満足が得にくいと言う不安が伴います。「飲水思源」を戒めの言葉として先輩の築かれた同窓会の伝統を重んじると共に、「進取果敢」新メディアの時代に前向きな姿勢で舵取りをいたす所存でございます。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。

重点支援校に指定されました



校長 高木 克

サテライト講習が評価の決め手

本校は、十四年度における自律改革の取り組み、特に進学指導対策と生徒に自律を求める取り組みが評価され、十五年三月二十七日の東京都教育委員会において、重点支援校として指定されました。指定を受ける際、決め手となったのが、同窓会にご支援いただいたいるサテライト講習の定着であり、このことが、今後効果が期待できるという評価につながったものです。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。今年度のサテライト講習は二年生の参加が少ないのが気がかりですが、六月から実施しており、夏休み中も、三年生など希望の生徒が受講しています。

文京高校キヤッチコピーを制定

指定を受ける時期に合わせて文京高校のキヤッチコピーを制定しました。生徒諸君に呼びかけたところ、延べ四十三名の応募があり、その中から二年の光野さんと水澤さんの二名に校長賞を贈りました。キヤッチコピーはこれのお二人の合作「夢を叶える通り道へ努力の

汗感動の涙 僕らの本気が文京（ここ）にある」としました。中学生向けの募集対策などに使用しますが、文京生の気概を示すものとして好評を博しています。

施設・設備面でもいろいろな支援が

また、指定を受けられたことにより、都教委からいろいろな支援を受けられることとなります。まず施設・設備の面ですが、十五年度中に社会科教室を始めとする自習用教室等十教室の冷房化工事が始まり、十六年度から使用可能になります。東京都の方針として冷房化できない教室もありますが、それらの教室には一教室あたり二台の扇風機を入れることもできました。人的支援としては今般の異動要綱の改訂に合わせて異動が促進されることになりましたが、学校経営計画に対する支援として、文京高校で頑張りたいという教員の招聘も可能になります。

目指す学校像具現化の推進

今後は、重点支援校としてどのような実践を行っているかが問われることとなりますが、

学校経営計画に掲げた目指す学校像具現化のための三つの柱①進学指導の充実②部活・行事の振興③「規律ある自由」の実現に向け、かく分掌・学年を中心として取り組んでまいります。例えば、教務部は校内研修や生徒による授業評価を行い、授業の改善を進める。進路部は各種講習を体系的に実施する、過去のデータを進路指導に生かすとともに、進路情報を提供し生徒諸君のモチベーションを高める工夫をする。生徒部は「規律ある自由」の実現に向けた取り組みをする、学校行事や部活の振興を図る。保健総務部は生徒募集対策などのPR活動などをそれぞれ主管して具体化して行きます。

意欲ある生徒に学校も積極的に支援

これらの取り組みと並行して、管理職や主幹を構成メンバーとするプロジェクト委員会を立ち上げ、あるべき学校の姿や生徒をどのように育成していくのかなどについて検討することとしました。手始めに、分掌や委員会の業務分担について見直しを進めています。定時制の協力を得て、部活終了後に勉強してから帰りたいあるいはもっと学校で勉強したいという生徒のために、自習室を午後七時ごろまで開放することにしました。すべてが、主体的な学校生活を送る意欲ある生徒に対する学校の支援策です。「規律ある自由」実現の向こうに、進学実績の回復があると捉え、生徒自身が自分で考え、進学対策に一日も早く取り組むよう期待するものです。終わりにになりましたが、同窓会の皆様からの有形無形のご支援に感謝申し上げます。

あの頃の文京、あの先生に聞く ①

教育とは生徒の成長を

手助けすること

佐々木益男先生（九十六才・英語）

（昭和十五年～二十二年）

昭和十五年母校の創立に参加され、現在なお記憶も確かでご壮健な母校恩師最年長の佐々木先生を五年間お教えを受けた渡辺元氏（旧一期A）と共に七月八日ご自宅に訪問した。

先生は明治四十年四月一日、福岡県小倉市（現・北九州市）でお生まれになり、大正十五年三月広島高等師範学校英語科を卒業され、北海道の中学校（旧制）に奉職され、昭和十三年四月に東京市立向島商業学校の教諭（翌年九月より教頭）となられ、十五年四月本校開校とともに、創立メンバーに加わられました。創立時のお話をお伺い致します。

佐々木 第三東京市立中学校は第一東京市立中学校（現・九段高校）の教頭の川島源治先生が校長に任命され、入学試験も入学準備も一中で行われた。入学式は四月三十日。授業は翌五月一日から西栗鴨（現在地）の養育院の半分を校舎として行われた。

新しい学校造りの希望に燃える

開校時の印象は？

佐々木 開校時には養育院の生徒が半分の校舎を使っている、寮舎も保母もいたので、いささか不自由なこともあった。

三中は川島校長と奥園教頭（英語）、一年D組兼学年主任奥田先生（数学）、一年C組河野先生（国語）、一年B組川島計治先生（理科）、一年A組佐々木（英語）、角原先生（体育）、渡辺先生（地歴）、細木先生（国語）の計九名だった。

校長を先頭に新しい学校造りの希望に燃え、幸に生徒は非常にすぐれていたので日本に冠たる中学校にしようと心を一つにして助け合った。「至誠一貫」を校訓として全ての活動はここに発しここに終わる、という気風で規律正しくしかも自由な雰囲気だった。至誠一貫の発動として整理整頓が求められた。校長の方針として机・腰掛の整理整頓だけでなく、授業の進め方などもきちんと整理するよう指導された。「人間関係と学習指導」を卒論にして以来私はひそかに研究を続けていたので、このことはとてもすばらしい発想であったと、校長に感激している。

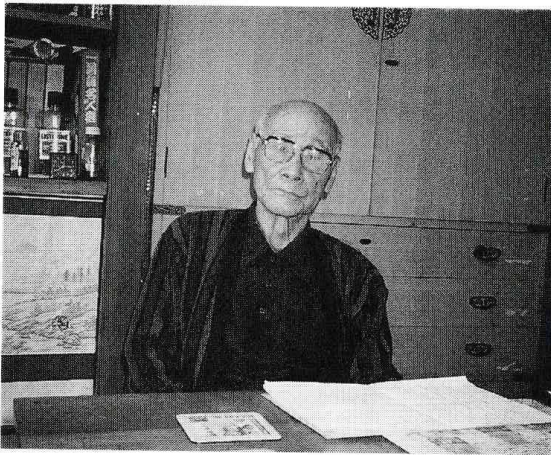
次の特長は全校給食制であったこと。衛生係として私とその任にあてられた。教員生活十数年、小倉の中学校では生徒指導主任・教務主任を学んだ。東京市立向島商業学校では教頭として学校経営を学んでいたので大抵のことには驚かなかったが、食堂経営には驚いた。食事を教育課程に位置づけた校長の発想は偉いと敬服した。「茶裡飯裡別所に向かわず」と一同が唱えてから食事をし、「一物も残すべからず」と、全てのものを食するよう指導した。お腹の悪い者の為には「おかゆ」を給した。

裸体操が新聞に写真入で紹介される

次は裸体操のこと。昭和十五年の夏、暑いので上衣もシャツも脱いで上半身裸で朝から授業をしているうち、秋になり冬になったが、朝礼も上半身裸で「紫色旗のもとに」を合唱して、その後学校の外を一周して戻り乾布摩擦をし、上衣を着けて一時間目の授業を待つ。これが町の評判となり、新聞にも写真入で紹介されるなどして市立三中の名物とされた。次の特長は登下校の際、大塚駅まで一列で正常歩で一切無言で歩くことであった。

もう一つの特長は、一年から卒業まで組替えをしないことであった。A組の私とD組の奥田先生は最後まで持ち続けたが、B組の川島先生は転出され、C組の河野先生は死去されて、途中で担任教師がかわったので校長の理想は半ばを失ない残念だった。

私は川島校長をすばらしい学校経営者だと尊敬し、多くを学ぼうとしていた。ところが学校の評判が良くなるにつれて、一層教育に熱心になった。時代も戦時体制となり国を挙げて軍国主義的気風が強くなっていく。そういう国の要求・時代の要求に教育は応じる一面があるのだが、まだ数え年十三・四才のまだ



自宅書齋で

若い少年が、学校の要求通りにできないからという理由で、なぐる教師が現れて、忽ちひどくなる。あの賢明な自由な校長が、こんなことを許していることが不思議だと不満であり、校長の折角の立派な教育精神も、このことで大変傷つけられ、一、二度「非常に残念だ」と話したが、やまなかつた。

爆撃で校舎焼失するも、勉学を続ける

一期生の卒業直後、校舎が講堂を残して爆撃で全部焼失してしまった。学校の隅にあって児童相談所のビルが焼けたが周りだけが残っていた。教師では奥田・芹沢・阿部・鈴木・佐々木の五名が兵役に服さず残っていた。生徒たちも疎開して学校に残っていたものは五十名位だった。この少数の者が近くの焼け残りのビルで豊島中学校の火を消さずに、勉学を続けることができた。九中(現・北園高校)から机・腰掛・黒板などを借りて生徒が一つ

ずつかかえて、学校に持ってきた。始業を知らせる鐘がない。焼け跡で焼夷弾のケースを数個見つけ、それをまとめて松の枝にかけてガラガラとならして授業の合図とした。

——新制中学校ができると、中学校の校長になられましたね。

佐々木 昭和二十二年二月頃から都庁から新制中学校の校長希望者を出すようにという電話があり、私が係をしていたので、度々教師達で選挙をした。いつも私が出される。私はその意思がないので、報告せずにいると、再三都庁から督促される。都では三百九十六名の校長が必要だという。ところが、小学校長・青年学校長から三百名の希望者が出ていたので、中学校や高等女学校からは、せめて九十名は出すよう努力してくれという。とにかく明治維新につぐ大改革なのだ。教科書を作る紙さえない時代なのにも思いながら校長になる決心をした。二代目の校長野口先生も全国の新制中学校校長会としてまとめる任務を帯びて愛宕中学校の校長になった。

フロリダ州立大で

学校管理を研修

——その時代ですかフルブライト留学生として渡米されたのは？

佐々木 昭和二十九年八月から三十年三月迄、フルブライト交換教師留学生の二期生として渡米した。フロリダ州立大学で学校の管理と指導を研修した。勉強したからには、お返ししなければと大学三年生に「日本の文化と教育」を二週間教えた。また同タイトルでフロリダ州立大学の放送局からラジオ放送も行

った。またオクラホマ州チェロキー市立の高校で校長の実務を三ヶ月間行った。郡の教会で説教を行う等多忙も重なり肺炎にもなった。

——学校群の問題の時(昭和四十一年七月)は、都立向丘高校の校長でしたな？

佐々木 二十人の委員会の一人だった。当初委員は反対論が多数だったが、京都府の先例を見学したり、校長総会では賛成・反対の両論併記であったが、小尾教育長の強い指導力で賛成論が多くなり実施された。私などは最後まで反対したが。

八人の子供のうち六名が文京を卒業

——その後、昭和四十三年から二年間北九州の西南女学院高校の校長になられました。

佐々木 兄が西南学園に勤務していたこともあり、ギャロット院長が毎月向丘高校に訪ねて来て校長に来てくれと乞われていた。それで講演依頼があり、断るつもりで講義を荒っぽく行ったが、かえって好感をもたれ校長になるはめになった。世の中には色々な縁があるね。西南女学院の生徒で私が教会で行った講義をテープにとっていたのをワープロで原稿に起こして、勿論私が目を通して平成十二年に「燃える御霊(使徒行伝講解下)」として出版して下さった方がいる。プロゴルファーの中島常幸氏の奥さんの律子さんです。

——ご家族は？

佐々木 妻に、子が八人。孫は十四人、曾孫が七人だ。八人の子のうちで悦子(六期D)、尚道(八期C)、民子(九期B)、望(十一期D)、従子(十五期A)と虔(十七期C)の六名が文京を卒業している。(十二期C、杉本安弘)

あの頃の文京、あの先生に聞く ②

戦後復興期、

「食糧増産の日」が懐かしい

石上 二郎先生（七十九才、生物）

（昭和二十二年～昭和四十二年）

——石上先生は昭和二十二年に文京高校（當時は豊島中学校）に赴任されたわけですね？

石上 当時は旧制度で文部省の辞令で東京都へ、都からは都立豊島中学校への奉職を命じられた。指示された現在のところは焼けた校舎の土台だけが残っていた。人伝に水道橋の元町小学校の教室を借りて授業をしているとき、豊島中学校に出勤した。

やる気満々の熱っぽい雰囲気の学校

——昭和二十二年と言えはまだ終戦直後ですが、学校では正規の授業はできたのですか？

石上 まだ旧制中学時代だった。学校は仮校舎だし、新制度への移行時期でもあり設備は十分とは言えなかったが、なかなかやる気満々の熱っぽい雰囲気の学校だった。校長はじめ、前身の東京市立三中を立ち上げた先生方や生徒が多く、活気があった。

——新卒の生物教師だったわけですね？

石上 終戦をはさんで四年間、東京高等師範学校（現在の筑波大学）に通った。四、五才の子供のころから野原で遊びまわっていたので、自然と生物に興味があったんだな。

中学一年の時、「植物分類の大家」の寺崎留

吉先生に出会って、腊葉標本を固定して頂いて感激し、高等師範の理科三部へ進んだ。越川先生（英語）、中田先生（地理）、川井先生（英語）、用務員の尾関さんが同期だな。

——そのころの印象深いことといえば：

石上 終戦後の復興に向けてみんな一生懸命だった。生物は机上の学問だけではだめで、奥田校長に生物部の部屋が欲しいとお願したら、屋上に部屋を造られた。やっと生物の部室を兼ねた実習場所ができた。いろいろの動物を飼育し、逃げないようにとブリキの切り落としの細い線針金で校長をはじめ部員皆で張り巡らした。特に蝦蟇（がま）をたくさん飼ったが、夜飛び出して、金網をすり越えて玄関などの地面に落下しちゃう。朝、登校する先生方がそれを見てびっくりするやら、気味悪がるやらでちょっとした事件だった。

戸田橋農場で、麦や薩摩芋を栽培

これも戦後ならではのことだが、週一日「食糧増産の日」があって、この日は全校の教師・生徒で戸田橋荒川河川敷にある学校の農場

（戸田橋農場）へ行くんだ。水道橋から都電で終点の志村坂下まで行き、あとは戸田橋まで歩く。それぞれが割り当てる農地を持って、耕して麦や薩摩芋を栽培する。そして収穫を分けていた。僕は農法で雑だったが、コツは一番わかっていたし、収穫も多かったよ。数年間やったかな。秋に台風がきて、授業を打ち切って、みんな慌てて収穫に行った。やっぱり食料が大事だったんだな、胸ぐらいつままで浸かって、一生懸命芋掘りしたね。

——昭和二十八年に現在の所に新校舎が完成。石上 旧制中学から新制高校。男女共学、新校舎になった。名実ともに文京高校が完成した。二階西脇には生物の専用教室も作ってもらったし、横の二階屋上には観察用の池もできた。茶室があったり学校全体が画的な校舎で、モデルスクールとなった。新校舎になり教師も生徒も教育・勉強に対する意識も高く、中学校にも評判が上がった。かなりの進学校で生徒も優秀、理解力があり基本的な勉強はできていたので、教師は方向観をアドバイスするだけでよかった。

夏休みには、鍋を担いで野外授業

——部活も盛んだった

石上 昭和二十年、三十年代は今と違ってゲームセンターなどがなく、部活も盛んだった。生物部を受持ったが、いろいろな個性豊かな生徒がいたね。特に夏休みは野外授業と云うか合宿をやっていた。大きな鍋を担いで、内房の海や富士五湖などに行った。

——プライベートな面ではどうでしたか？

石上 昭和二十七年に結婚した。三十才前に



多嘉子夫人と自宅で

世帯を持つという思い、奥田校長に仲人をお願いした。新婚旅行は伊豆半島一周だったな。

——お酒の方は……

石上 酒は一生の友だな。昔は一升酒も厭わずだったが、今は適量(笑)。気のあつた先生とよく学校の帰りに行った。大塚ではまずいので、池袋や新宿が主だったけ……。

担任生徒が甲子園出場で、応援に

——昭和四十七年に都立国立高校に転任されましたね。

石上 文京では二十年、十六クラスを担当した。国立高校に移り、昭和六十年まで生物教師として十八年間在籍したが、国立高校ではあまりクラスを担当しなかった。この高校は担任は一年から三年間変わらない制度であり、退官間際に受持った生徒が三年の時、都立高

校としては初めて東京代表として夏の甲子園に出場したんだ。大会初日の三回戦で優勝候補の箕島高校に敗退し、三日間夜行バスで往復し風邪をひいてしまった。

——気になる卒業生、教え子と言えは……

石上 誰とはいえないけど、田制・新制で六年教えた生徒たちは印象深いね。こちらも教師成りたてだったし。教え子では、昭和二十六年卒の矢島稔君。多摩動物公園の設立時の園長をやった。それに、生物部と山岳部の部長たち。今でも年一回、数人で旅行している。今年山梨の「ほつたらかし温泉」に行ってきた。この生物部OBや文京・国立の有志が、私の還暦祝いを椿山荘で開いてくれた。文京、国立の関係生徒に声をかけてくれて、百人ぐらい集まってくれた。

——退官されたあとは、悠々自適ですか？

石上 やっぱり生徒と付き合うのが好きなんだな。国立高校を退官した後も、国立、戸山高校の講師をし、その後現在も私立高校、専門学校で生物を教えている。文京や国立の生徒は優秀だったが、このごろの専門学校の生徒は基礎ができていない。授業内容も進化し、昔よりも教えるのに苦労している。

——生物学も変わった？

石上 その通りなんだ。昔は生物学は、この動植物は何科の何属だとか分類学だったんだ。しかし最近、遺伝子学の世界になった。大学の専門書はあっても、噛み砕いた入門書がない。教え方が難しいんだ。

——今でも植物の栽培をされている……

石上 私は親父の関係で横須賀で生まれたのだが、その後ずーっと西荻に住んでいる。最

近はこの場所は開けたが(駅前繁華街の中で民家の一軒家)子供のころは、善福寺公園も近く、自然そのものだった。今は屋上の箱庭で野菜を植えるのが精一杯。十数年前に茨城の鹿島灘に小屋を建て、時々行って野菜を植えている。子供は娘と息子それぞれ一人で、孫も三人いるけど、最近鹿島灘には誰も一緒に行かなくなった。時たま行くと、野菜の栽培よりも、雑草抜きの方が主になって、一人でやるもんだから、三、四日かかるよ。

——先生のお話だと、ほとんど生物に関連しますが、趣味は？

石上 四十代ごろに、何か趣味を言うことで、兄弟で謡曲をはじめたが、七十九才の今でも続いている。自宅で謡曲をうなるわけにいかないで、週一回、師匠のうちにやっている。能楽堂で発表会もやったな。

文部・両道の文京へ

——最後に、これからの文京に期待することがあれば……

石上 新しい校長の基で、再び活気ある文京に向かっていけると言う話をよく聞く。先程紹介した矢島君始め、文京の卒業生で現在社会で活躍されている立派な人が数多くいる。この卒業生をもっと利用したらいい。生徒とのパイプを太くしていく。生徒の将来設計にとっての良いアドバイスが聞けることになるし、相談相手にもなれる。部活は盛んだと聞か、文武両道でなく文部・両道の文京になってほしい。(いつまでも若々しく青年の心の石上先生でした。十一期D、(籠絃矢))

あの頃の文京、あの先生に聞く ③

とにかく担任が好き、
卒業生を六回だす

松浦 桂子先生（六十三才、英語）

（昭和三十九年～五十九年）

——松浦先生は昭和三十九年文京に来られたわけですね？

松浦 そうですね、ちょうど東京オリンピックの年ですね。大学を卒業、三月には結婚、下北沢に引越しをして四月から文京の新任教師となりました。面接のときは旧姓でしたが、四月一日には違う姓になっていて随分と冷かされました。しばらくの間は当番の札が旧姓のままでしたね。昭和五十九年まで二十年いりましたが、当時は今の様な制度もなく三十年以上も東京高校という先生もいらっしやいましたね。

母のアドバイスで、英語の教師に

——教師（英語）になられたきっかけは、なんだったのですか？

松浦 母も姉も教師であったこともありませうけども、母より早い時期に「女も自立しなさい」と言われていました。それで、経済的にも自立しようと思って一生できる職業として教師、公務員、看護婦、弁護士等色々と考え

ましたが、その中から教師を選びました。

——当時の文京はどのような印象でしたか？

松浦 文京は本当にいい学校だったと思います。二十年も在籍した学校ですので、私にとっては故郷でもあるし、誇りにも思うし、今でも愛しています。私の人生の大半を文京で過ごしたと思っています。生徒が大人だったでしょ、うるさく規則を言わなくとも、とんでもないことをする子はいなかった。そういう意味では、色々なことに対し対等に接することができました。教員も生徒も自分達のやりたいことを、やりたいようにやりながら、全体がうまくいくという、ある意味、理想的な雰囲気文京にはあったと思います。この頃には、先生方による補習授業も行っていました。夏休みなどは、十日で一セットを三回も行っていた先生もいらっしやいましたね。私も若かったし、自由に楽しく過ごしましたが、本当は多くの先生方にも、生徒達にも支えられながらやれてきたのだと今は思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

——学園紛争もその頃にありましたね

松浦 四年目（昭和四十四年）の九月にありました。日本の社会全体が、大きなうねりななかで変わってきましたね。すごく大きな転機でした。この時のなごりで一時、担任二人制という時代もありましたね。

二十一年間で卒業生を六回送り出す

——そういえば先生は卒業生を六回も送り出していますね

松浦 そうです。二十一年で六回送り出しているから、けっこう記録かもしれないですね。この当時は、必ずしもクラスを受け持つ必要はなかったのですが、毎年手を上げていましたね。担任が大好きでしたし、生徒と付き合うのが楽しかったですよ。

六回のうち三年間かわらないクラスが三回ありました。最初のクラスの二十期は、三年の時にクラス替えがあり、今でも一、二年のクラスで集まったりしています。

次の二十三期は、出産と紛争があつて、クラス替えはありませんでしたが、担任が替わるといことがありました。二十八期は、二年の担任でした。二十六期、三十一期、三十六期は、三年間いっしょのクラスでした。

退職を期にエンマ帳を焼き捨てる

——今でも卒業生との交流はありますか

松浦 このように当時の色々な事情により三年間いっしょに過ごせたクラス。クラス替え、紛争で三年間いっしょに過ごせなかったクラ



ストとありましたが、私はとにかく生徒と居ることが大好きでした。中にはホームページを立上げ、今でも交流を図っているクラスもありますよ。

担任をした生徒達のことは今でもしっかりと憶えています。三十一期・三十六期最近みんなで会っていないけど元気なのかな？ ちよっとさみしいです。(三十一期・三十六期の方ぜひ、連絡を取ってあげてください。先生の顔さみしそうですよ)

——印象に残っているクラス・生徒はいらっしゃいますか？

松浦 いっぱいすぎますね。三年間ずつ担任すると皆んな我が子でしょ、それが六クラスですよ。

よく勉強する子、手のかかる子、いろんな

子がたくさんいましたが、その中から少数を選ぶのはむずかしいですね。卒業してからは特に成績は関係ないですよ。教員退職を期にエンマ帳は全て焼きましたよ(笑)。文京で三年間クラスを持ち上がり卒業させ強いつながらりができ非常によかったと思います。

本当は文京に三十数年いたかった

——文京後の履歴は？

松浦 普通科しか経験のない教師は、商業、工業、定時制、島部の経験をという制度ができ、市ヶ谷商業高校に移り九年居ました。その後、生徒数の減少により石神井高校に移り六年の後、定年前に退職をしました。嘱託として二年間だけ広尾高校にいました。

？才を機に教職をやめ今は悠々自適の生活を送っています。合計四校での教鞭ですが、制度が変わらなければ文京に三十数年いたかもしれないですね。

——悠々自適の生活とのことですが、主どのようにに過ごされているのですか？

松浦 最近、色々なことが社会で起こり、心配事も多いですよ。仕事を辞めてからメーデーにも参加していません。今年イラク戦争反対のデモが東京であったでしょ、久しぶりに市民の一人としてこのグループにも所属せずに参加をしました。私は、戦争は体験していませんがとにかく戦争が大嫌いです。反戦がすべての元であり「平和と民主主義の世の中であり続けてほしい」といつも思っています。次の世代の人達も同じ思いに立

ち平和な世の中が続くように願っています。

週に一回は、文京時代の先生と囲碁対局

——趣味は何かお持ちですか？

松浦 碁をやっています。仲間五人います。が、文京時代の人達で太田(敏)先生、太田(三)先生、三浦先生、稲留先生方とは、週に一度くらい会ったりしています。たまには、他の先生も誘って飲み会などもやっていますよ。意外と文京時代の先生達とは会っていますね。

——先生のご家族のことを、教えていただけますか？

松浦 主人も教員です。都立高校の先生として定年まで勤め退職後、嘱託として今も教師として働いています。子供は、二十三期生を担当している時に、出産をしました。その子に子供が生まれ(七月三十日男児)名実ともにおばあちゃんになりました(笑)。教え子達がおばあちゃんになったお祝いをしてくれるという話もあるんですよ。

——最後に文京について一言

松浦 私の中では故郷であり、いい思い出があります。たくさん生徒と強い絆がありました。

(この取材は、七月二十三日で、先生は終始笑顔でニコニコでした。この日もお孫さんに会いに行く前に時間を作っていただきました。先生おめでとうございます。そして、貴重な時間をありがとうございました。二十六期F、榊恒一)

あの頃の文京、あの先生に聞く ④

右肩上がりの時代、

進学も一浪はヒトナミ

廣見 正剛先生（六十三才、体育）

（昭和四十八年〜六十二年）

平成十五年七月二十一日（火）廣見正剛先生にお会いするため、現在のお勤め先、国立競技場内オフィスへお伺いしました。

——こんにちは、今日は同窓会誌「紫筍」に先生方の近況並びに当時の思い出話を掲載したいのでお伺いしました。よろしくお願ひいたします。早速ですが、先生は退官された後、こちらの協会（財団法人 日本体育施設協会）にお勤めですか？

廣見 そう、退官直後は一年間、金融機関へ籍を置いたが、東京教育大学の先輩から、こちらの協会を手伝って欲しいとのオファーがあつて、去年から勤務している。やはり体育関係の仕事の方が、古巣に戻った様で楽しみながら、仕事をしているよ。

サラリーマンから、教師に転職
そして文京へ

——こちらでのお仕事の内容は？

廣見 全国の地方自治体や民間などの、体育施設の充実、振興、他に体育関係の指導員の研修、資格試験の実施など、体育振興に関する諸処の仕事だな。

——先ほど、先生のお話で、東京教育大学のご卒業との事ですが、卒業後直ぐに、教員になられたのですか？

廣見 卒業後は、本籍近くの一般企業に数年勤務し、その後教職についた。昭和四十三年に都立神代高校に入ったのが、教員としてのスタートだった。その後、昭和四十八年四月に文京高校に赴任した。

そのきっかけは神代高で教頭をされて、文京高校へ校長として赴任された、当時の石田校長からお声がかかって文京高校へ行ったわけだ。文京高では十四年間勤務し、その後、都立工芸高で六年間、それから都立北野高で教頭として四年間、そして都立田無高で校長として勤続したのが四年間だった。

渋谷先生はじめ名物先生が多かった

——先生の長い教師生活の中で文京高在任が十四年間と長いですが？

廣見 それは、当時は定期的な異動は無かったからだ。学校のご近所にお住まいだった阿部先生（漢文）や、渋谷先生（体育）ははじめ三十年以上おられた先生もいられた。それこそ、都立高校での名物先生は多数おられて、

「文京高」の良い特色でもあったんじゃないかな！

特に渋谷先生は同じ教科で、我々、若手教師の指導方針もきちんと受け止めて頂き、助かったな！

——着任当時の文京高の印象はいかがでしたか？

廣見 先ず、校門を入ると圧倒的な存在感の「椎の木と銀杏」が印象的だった。後で、校歌の一節に唄われているのを知り、改めて象徴的な木だと思つた。施設面でも都内有数の恵まれた学校だったな。この都心にありながら校庭も広く緑も豊富で裏に都電が走っているのも情緒があつたな！

——同じ教科の先生方の印象は？

廣見 体育科のスタッフは、御大の渋谷先生から、若手、女性の先生とバラエティに富んで、粒揃いの先生方が揃っていたね！中でも山際先生、「ベンちゃん」なんか豪快だったな！（笑）

学生運動も沈静化、
最も安定した時代

——当時の文京高の生徒気質とか、学内の状況は？

廣見 僕が在任してた昭和四十八年から昭和六十二年は、学生運動も沈静化していて、思い返すと戦後で一番、精神的にも経済的にも安定してた頃だったな。高度経済成長からバブル経済へと、右肩上がりの時代だったから生徒諸君も進学に関しては、「一浪くらいはヒトナミ」と思う風潮があつたので、のんびりしてたな。

——当時担任されてたクラスの学生達はいか



職場の国立競技場で

がでしたか？

廣見 いやー、当然僕のクラスの連中は優秀な生徒ばかりだったよ！（笑？）僕は幸か不幸か、三回しか担任はしてないが、その中で教職に就いた生徒が四、五人はいるはずだよ。まー、僕の背中を見て教師になったかどうかは、わからんが！（笑）

バスケット部には、やはり愛着が

——バスケット部の顧問をされていたと思いますがクラブ活動はいかがでしたか？

廣見 バスケだけではなく、体操部の顧問もやってたんだぞ！

まー、自分が教育大時代バスケット部に在籍してたから、どうしてもバスケにウエイトはかかってたがね……

当時、バスケット部には、渋谷先生というカリスマ的な先生も顧問でいらしたから、現役もさることながら、OB会活動も盛んだっ

た。他のクラブ、野球部は勿論、バレー、テニス、卓球、陸上、サッカー部も盛んだったな。クラブ活動が盛んなのは当時から、今へ受け継がれているのでは！

——当時、印象に残った生徒は？

廣見 やはり、担当教科が体育だから、陸上競技でインターハイ出場の西脇君と磯辺君、自転車競技でインターハイへ行った原君、それとバスケで二回、関東大会出場を果たした年代、その前後の諸君が思い出深いな。

それから、僕が直接教えた生徒ではないが、バスケOBの片山一郎君は忘れられない。（昭和四十六年卒）彼は残念ながら、昭和六十三年に急逝してしまったが、バスケ部男子が関東大会に進出する礎を造ってくれた一人だ。

当時、顧問の渋谷先生は都立校という立場上、合宿などの費用がかさむ行事には消極的だったが、片山君がOB会の先頭に立って他のOB達に声をかけてカンパを募ってくれたり、一緒に初めて合宿をやった。また、彼は現役の練習相手として一緒にコートに立って、他のOB達と連れだって汗を流して指導にあたってくれた。

そのうちに、学芸大から渡辺先生が着任されて、彼の意志を継ぐかのように関東大会出場を果たしてくれた。本当に片山君の情熱には頭が下がった。改めて、ご冥福をお祈りしたい。

お酒よりも、パイプ。手作りもする。

——少しプライベートの事を少しお聞かせ下さい？

廣見 そー、結婚は文京高に着任してから二年後の三十五才だったかな（苦笑）。子供は

二人で、両方とも教師にはならなかったし、バスケットもやらなかった。長女が最近結婚した。孫の顔が見られる可能性が出来たかな！

——先生はお酒を飲まれているのを見た事がないのですか？

廣見 あー、僕は酒が体質に合わないから飲まないんだ。その代わり、酒の席では暇だから、パイプを喫っているよ。約二十本以上は持っているが、その中の五、六本は僕自身の手造りだ。手造りパイプが今ほど知れ渡る前からやってたから、喫うこともさることながら、パイプを造るのも趣味だな。だから禁煙もしないね。

コツコツと努力する忍耐力を

——最後に、今後も文京高に期待する事は？

廣見 元々、文京高は都立の名門校だった。現在の生徒の質も劣っているとは思えない。僕が文京高にいた当時と同じように、勉強もクラブ活動も一生懸命にやっている話を聞いて嬉しく思っている。ただ、勉強も運動も一朝一夕で能力が飛躍的に上がることがないのは、周知の事実だ。都会っ子の長所である集中力に、コツコツと努力する忍耐力が備われれば「鬼に金棒」だ。進学にスポーツにと、文京高の更なる躍進を期待している。

（インタビュというより、私もバスケット部に在籍していたためか、ほとんど昔話で終わってしまった取材だったが、終始、にこやかに笑顔でお話いただいた、廣見先生でした。お忙しい中、本当にありがとうございました。二十六期日、小野富雄）

平成十五年 職員人事異動

今年も四月一日付けて九名の先生、一名の事務の方が新しい職場に転出されました。一方、十二名の先生、一名の司書、一名の事務の方が新しく文京にこられました。この新任十二名の中で、柳谷先生（体育）は三十二期の卒業生で、二十八期湯沢先生、三十二期平岩先生と合わせて文京OB教師は三名になりました。

◎ご苦労様でした

田淵 巖 国語(平成六年) 農芸高に
秋山 慎作 国語(平成三年) 府中西高に
中田 浩一 国語(平成五年) 江東商に
竹内 常夫 数学(平成六年) 新宿高に
山田 馨 数学(平成八年) 小山台高に
竹内 俊一 化学(平成十一年) 高島高に
飯沼 美雄 生物(平成六年) つばさ総合高に
長船 良昭 保体(平成八年) 足立東高に
白石 正浩 英語(平成四年) 高島高に
阿久津直樹 事務(平成十一年) 江東都税事務所に

◎はじめまして、よろしく

森下 治生 国語 隅田川高堤校舎より
本田あけみ 国語 大森東高より
荒井 整 国語 北野高より
亀井 賢次 日本史 北多摩高より

近津 実 数学 千歳丘高より
川島 香 数学 世田谷工高より
板橋 幸彦 数学 永福高より
滝口 東 数学 尾山台高より
吉岡真由美 化学 紅葉川高より
山田秀二郎 生物 日比谷高より
柳屋 伸明 保体 志村高より
藤丸 俊宏 英語 府中高より
中村 初江 司書 南野高より
高橋 弘泰 事務 上野高より
(敬称略)

文京に戻って挑戦

柳谷 伸明(三十二期)

昭和五十二年から文京高校での高校生活が私にとって将来を大きく左右することになるとは夢にも思っていなかった。早く卒業してどこでも何の教科でもいいから学校の先生になって、安易に考えていた私は、バスケットボール部に入り、部活生活を始めた。
二年の時に転勤されてきた渡邊秀敏先生との出会いによって、周りに対する気配りや思いやりの大切を教えられ、さらに文京生としての誇りと自分の生きていく道をはっきり照らされた。高等学校の体育教師になって、渡邊先生を指そうと思うようになった。

それから二十四年目に母校に戻り教壇に立たせてもらっている。自分は、素晴らしい先生とめぐり会わせてくれた母校に感謝の気持ちを忘れず、この文京高校で同窓生の平岩先生と伝統を守り、さらに偉業に挑戦していく決意である。ご指導、ご鞭撻をお願いします。

今春卒業生が

「進路体験講演会」で 経験談を発表

六月十八日、三年生を対象に今年三月卒業した五十四期生を招いて受験等の体験談を話してもらった「進路体験講演会」が開催された。

看護医療系では下田里菜さん(日本大学医学部付属高等看護学校、バレー部OB)、齊藤弘樹さん(江戸川医療専門学校・理学療法士学科、サッカー部OB)の二名。「不得意科目を克服するより得意科目を伸ばすことに集中」「大学にするか、専門にするかでかなり悩んだ。結局自分で調べたり、先生に相談したり、学費なども比較し、現在の学校の推薦を受けることにした」などの意見が聞かれた。
文系は安藤太一さん(明治大学・商学部、バレー部OB)、飯島悠哉さん(学習院大学・文学部哲学科、岩瀬史明さん(立教大学・コミュニケーション福祉学部、サッカー部OB)、山本果純さん(國學院大学・法学部、剣道部OB)の四名。

励ましながら頑張る

「負けず嫌いなことになること。友達と遊びたいと思うこともあるけど、誘惑に負けないように。自分は模擬試験は最後までE判定だった。だから皆も諦めないことだ」「日東駒専くらいは思っていたのだが、センター試験で全部落ちたので、後は六大学しか残っていなかった。だからセンター試験が終わった後、さらに必

死になった」「夏休みは受けられる学校の補修は全部出て、補修の後は学校の図書室で自習した。英単語は書き出して覚えた」「速めに受験科目を決めておくこと。私はこれで失敗した。友達が推薦で決まっていくなは辛かった。ストレスがたまったり、泣きたいとき、辛いときもあるけれど、友達同士励ましながらがんばれると思う」などのアドバイスがあった。

最後は自分を信じる

「本格的に勉強をはじめたのは、三年の夏から。部活で二時間くらいだったが、夏休みから十時間やった。少なくとも八時間毎日やれば、どこでも受かると思う。国立は二年までの基礎ができていないと入れない」「英単語を五十個覚えることを毎日した。後は通信教育の問題集。数学、物理はひたすら問題を解いた」「テレビを見たりしてリラックスしたが、けじめをつけて勉強した。センター試験のために、朝方に勉強するようにしていた」
このように、卒業生から生の体験談とアドバイスが聞けたが、一致した意見は「最後は自分のがんばり。自分を信じること」であった。多忙の中、自分の学校の授業を犠牲にして来校し、後輩のためにわざわざ「進路体験講演会」に駆けつけてくれた方もいて、生徒には良いアドバイスとなったものと思われる。

本年度より、二期制に

文京高校は平成十五年より、二期制が導入された。二期制とは一年を前期Ⅱ四月～九月、後期Ⅱ十月から三月との二期に分ける制度。したがって生徒が受ける学期末の評価（通知表）が、これまでの三回から年二回ということになる。

二期制導入の主な理由は、授業時間の確保にある。従来の三期制では、期末考査の後の一週間は採点評価の作業と重なり、特別な時間割が組まれ、十分な授業時間を確保できなかった。しかし今年度は、休業期間直前まで授業を確保し、生徒を考査に集中させられる。前期を例にとると、七月中旬まで授業があり考査後すぐに夏季休業に入った。後期も十二月は同様である。こうして従来より二週間程多く授業が確保される。

その他のメリットとしては、教職員は休業期間にゆとりを持ってじっくり採点評価にあたる点、体育祭と紫雲祭（文化祭）の二大行事を、前期に置くことにより、後期は生徒が落ち着いた気分で、授業に向かえる点も挙げられる。

二期制導入にあたり、二回の評価を出すため、考査を何回実施するのかについて職員会議で議論が重ねられた結果、文京生の実態を考えて、細かく区切りながら考査をし、一定の評価を出したほうが、教育効果があるという判断をくだした。試行錯誤はあるだろうが、私たちの母校は変わりつつある。

「体育祭」

文京生最大のイベント

近年の体育祭は文京生の情熱が最も注がれる、最大のイベントとなっています。

七級団による集団演技の競技

その活力のもととなる種目は、集団演技です。AからGの七級団が、一、二、三学年で縦につながりながら、総勢百二十人を組織し、演技を披露します。そして保護者、卒業生、教職員らの審査員により順位が決まります。この種目では、三年生の指導力が問われます。中間考査をはさんだ、前後三週間で、自分たちのイメージする曲、振り付けを、いかに一、二年に徹底するかが運命の分かれ道なのです。それには、まず三年生自らの集団



指導体制づくりが、重要なポイントになります。

精神的な各級団の縦の団結は、体育祭一週間前頃から始まるダンスの練習を通じて培われます。特に、一年生は入学後一ヶ月にして、この踊る集団づくりに巻き込まれていきます。

近年は、個人技を見せるより、集団の動きをいかにして、大きな、統制のとれた、美しい形として見せるかに力点が置かれていきます。今年も、集団の列が風車のように回転したり、組体操の頂点から団長が飛び上がったたり、新しい工夫が見られました。

男子の棒倒し、女子の筏下り（馬になつた背中の上を身軽な選手が駆けていく速さを競う）、全員リレーなど見所はたくさんあります。最後の色別リレーで最高の盛り上がりを見せ体育祭は終わります。

感動の八〇〇人以上の校歌大合唱

ここ二、三年の傾向として、同窓生が見たなら、おそらく感動するであろうシーンが一つあります。閉会式もすつかり終わった後、感極まった生徒達（ほぼ全員）が校庭を去りがたく思っている、野球部が実行委員長か誰ともなく校歌を歌おうということになり、夕暮れの校庭で八〇〇人以上の校歌合唱が始まりました。人に歌えといわれるのではなく、自ら歌いたくなる校歌。特に最後の「われらの高校。名は文京」と言う所は聞く者に感動を与えます。母校を離れて久しい同窓生の皆さんも是非、後輩の体育祭をご覧下さい。

（体育祭は例年六月に行われます）

《修学旅行》

平和学習と体験学習を兼ね、沖繩に

修学旅行は、かつては憧れの的だった奈良、京都の世代、少し足をのぼして広島、岡山、四国、瀬戸内の世代、と交通機関の便利さと共に、少しずつ遠くに行けるようになりました。近年は、北海道、九州もありましたが、最も多い行き先は沖縄です。昨年度の行程は初日に平和学習、二日目は観光、三日目は体験学習、四日目は空港近くの観光でした。

平和学習は壕（ガマ）の見学から始まります。壕とは随所に見られる広大な天然の鍾乳洞のことです。戦争中にこのような場所での生活や、自決という決断を余儀なくされた人々の悲惨を、生徒に体感させ、平和維持への意欲を改めて喚起させることが見学の目的です。

平和学習は、平和の礎（いしじ）戦争資料館、ひめゆりの塔の見学に続き、夜はホテルの広間で、ボランティアの方に戦争体験を語って頂き、平和学習は終わりました。

紅型やカヌー。沖繩の文化や自然も体験

三日目の体験学習は「修学」の二つ目のポイントです。沖縄料理、紅型など、文化に触れるコースや、カヌー、ハーリー、等の自然体験コースに分かれ、体験学習が行われました。今年度も、二年生は、沖繩に行く予定です。多少の行程の違いはあれ、平和学習と体験学習とに修学のポイントが置かれるでしょう。

★吹奏楽部

金管八重奏が、初の金賞獲得!

一月の第二十六回東京都高等学校アンサンブルコンテストの金管八重奏で初の金賞を獲得した。また木管八重奏でも銅賞を受賞。これらの輝かしい記録を背景に、三月三十一日、王子の北とびあ・さくらホールで第二十回の記念の定期演奏会が開催され約六〇〇人の聴衆の入場があった。演奏会は三部構成であったが、今回が第二十回記念ステージと言うことで、第二部では「文京アラスが選んだ青春の懐メロベストテン」で、YMCANAなど十曲が演奏された。吹奏楽部は文京を代表する部活の一つで、この吹奏楽部に入学することを目的に入學してくる中学生も多いと言う。吹奏楽部のOBで現在、常任指揮者をつとめられている田中祥一さん(三十二期C)によれば「金賞獲得や東京都高等学校吹奏楽連盟定期演奏会に二十五年連続出場するなど、年々レベルは高くなっている」とのことだ。

第二十一回定期演奏会のご案内

日時 平成十六年三月三十日(火)
 (午後六時開場 六時三十分開演)
 場所 練馬文化センター大ホール
 (西武池袋線練馬駅下車徒歩二分)
 演奏曲目 ①ファンファーレと祝典
 の賛歌②バレエ音楽「コッペリア」
 より③君の瞳に恋してる他

入場無料

★陸上部

快足坂本君、
インカレ出場ならず

陸上部に快足ランナーが出現。三年生の坂本寛典君で、これまでの自己記録は百一〇秒九十一、二百一十一秒七七一と言っ記録を保持している。強豪がひしめく第三支部の予選を軽がる突破し、都高校総体では百一十秒決勝で五位、二百一十秒決勝で三位、四百一十秒決勝で三位と好成績を残し、六月十三日から群馬県前橋市敷島陸上競技場で行われた関東大会に出場した。

普段の実力があればインターハイ出場は問題なしと期待されたが、残念ながらインターハイ(全国高校総合体育大会)への出場はならなかった。惜しかったのは得意の二百一十秒で、わずかに百分の四秒差で九位となり涙をのんだ。また百一十秒の予選、準決勝でも一〇秒台を記録した。坂本君は現在秋の国体に向けて練習に励んでいる。

東京都大会には坂本君の他にも、女子千五百人に大塚さん、久保本さんが、また男子四百一十秒にも男子チームが出場したが、決勝進出はならなかった。

コーチでもある部長の佐藤博先生は、「部員も三十名ぐらいで、選手の実力は着実にアップしている。坂本君たちが卒業しても有望な一、二年生の部員がいるので、今後も期待できる」とおっしゃっている。

なお、同窓会は坂本君の関東大会出場に予備費から支援した。

★バドミントン部

男女とも、
ブロックベスト8に進出

バドミントン部は昨年、女子が秋の新人戦で、男子が今春の総体予選で、それぞれAブロック団体のベスト8に残りました。現在は三年生の抜けた穴を埋め、ベスト8を越えるために、練習に励んでいます。

男子は、二年生が一人、一年生は九人いますが、内八人が初心者です。すでに合宿を終え、各ショットを十分な体勢の時に、打てるようになった程度の力です。女子は一年生にも経験者が多いとはいえ、技術も未熟で、課題をたくさん抱えています。二年生も一年生には勝るとはいえ、改善すべき点は、山ほどあります。

OBからのアドバイスを熱望!

大会は八月下旬にダブルスの個人戦があり、秋には団体の新人戦があります。これまでの最高の実績は、ブロックベスト8です。さしあたっての目標は秋の団体戦でブロックベスト4に残ることです。そのために、シングルス戦に強くならなければ団体戦は勝てないという過去六年の反省からシングルス重視で練習に取り組んでいます。

バドミントン部OBの方々にお願いです。バドミントン部はいつ頃、発足したのか、また、過去にどのような練習をしていたのか。在校生の励みにもなりますので、文京高校まで、ご一報ください。また、実際に練習をご覧頂き、アドバイス頂ければ幸いです。

★バスケット部

〈男子〉
当番、ベスト32が目標

男子バスケット部は現在二年生十五人、一年生九人の二十四選手と六人のマネージャー。今年より、かつての黄金時代の選手であった柳屋OBが母校の体育の教師として赴任され、早速男子バスケット部の部長として、チームを指導している。今年のインターハイ東京予選は残念ながら四回戦で敗退したが、「運動能力の高い選手が多いので、基礎固めからきっちりやっている。来年はベスト32、近い将来は自分たちの時代のレベルを目指したい」と柳屋部長は抱負を語った。

〈女子〉二部への昇格を目指す

一方、女子のバスケット部は、二年生一〇人、一年生六人の十六名の選手にマネージャーが二名。昨年はインターハイ東京都予選で四回戦で敗退し、三部との入れ替え戦も破れたため、現在四部。昨年より部長をしている渡辺篤先生は「今年はこの選手の力を把握するので終わったが、今年には有望な選手も入部しており、是非二部への昇格を実現したい」と思っている。「しっかりと守って、すばやく攻める」をモットーに練習に励んでいる」とのこと。

今年三月卒業したもとキャプテンの渡辺さんがアシスタントとして、チームをサポートしている。七月末に群馬県片品村で、男子・女子同時期に夏季合宿を実行。吉報が待たれる。

同窓会ホームページ

今秋にはサーブス

開始予定で準備中

榎本会長の挨拶で今年の同窓会の施策の一つとして「新しいメディアへの積極対応」をあげていますが、現在、「ゆびとま」などで交流している同窓生は五、六〇〇人のようです。今後増加していくものと思われ本格的な対応についても検討をはじめました。また今秋に同窓会のホームページを立ち上げるべく、現在準備を進めています。ホームページを持つことにより、同窓会会員への情報提供、交流がこれまで以上に盛んになるものと思われまます。ご期待ください。

文京高校も六月に開設

開かれた文京高校の一貫として、今年六月二十八日に文京高校のホームページが開設されました。

「生徒一人一人の個性を大切に、伸ばす教育を推進していくことを学校経営



六月に開設された文京高校のホームページ

の基本」とする高木校長の「校長より、目指す学校像・中期的目標と方策・今年度の取り組み目標と方策を紹介する「学校経営方針」のほか、「沿革」「学校生活」「学校行事」「施設設備」「卒業後の進路情報」「校歌」「校章」「標準服紹介」「部活動」「PTA活動」等のページがあり、写真も多く取り込み、現在の文京生の様子が観えます。

http://www.dunkyo-h.metro.jp/guid/policy.htm

文京関連サイトも、いろいろ

yahooで「文京高校」を検索しますと、約二万五千五百件のページが見つかります。主なものの次の通り。

- 文京高校野球部・球紫会トップページ
ご存知野球部OBによるHP。詳しくは十九ページを。

- 文京高校吹奏楽部……部活紹介のHPで、活動予定・練習予定表等を掲示。

- 文京高校鉄道研究部……現在休部中のためOBが管理し、部復活を呼びかけている。

- その他二十一期の山口真樹子さんが作っている「都立文京高校同窓生連絡所」三十期のHONさんによる「PURPLE BUNKYO」などがあります。

また文京生が管理人のホームページとして、「沖釣り暴走族」(三十期のおつ丸さん)、「サムの部屋」(三十期のサムライさん)、「J's LEISURE」(三十期のJJさん)、「東京都立文京高等学校三十三期私設web」(三十三期中村さん)などがあります。

一度覗いてみてください。

十回記念「東京校歌祭」盛大に行われる

昨年の第十回校歌祭は十月五日(土)日比谷公会堂で行われ、二十二校千三百名が出演した。本校からは三十二名が出演。

高木校長・鈴木元校長・石川前PTA会長も参加され、また今回初めて在校生(二年女子、一年男子、一年女子)が参加した。特に四十期〜四十六期の若者が十二名参加した。今回は第十回記念大会ということで、東京校歌振興会の杉本記録部長(十二期C)が歌詞付の録画ビデオを製作し希望者に実費頒布し好評であった。なお朝日新聞の取材を受けたので、昨年十月二十八日夕刊(全国版)に四分の一ページ大で報道された。

今年十月四日(土)星陵会館で

日時▼十月四日(土) 午前十一時 四時

(従来より概ね二時間早い)

わが校の出演は午後二時頃(出演者は正午には集合)

場所▼星陵会館(日比谷高校の同窓会館)の二階ホール

千代田区永田町二一六一二

電話(〇三)三五八一―五六五〇

曲目▼市立三校歌、生徒歌「あしたのぞめば遙かなる」、文京校歌いずれか一曲でも歌える方は奮ってご参加下さい。

参加希望者は安達陽一氏(四十期E)宛

電話(〇三)三九四九―八二八〇

平成十五年度

同窓会役員・常任幹事一覧

名誉会長	静谷 晴夫(旧四期B)
会長	榎本 幸三(新四期E)
副会長	若尾 迪治(十期A)
	君崎 悦子(十一期E)
	杉本 安弘(十二期C)
総務担当部長	二瓶 鋭(二十一期C)
	大野 公代(十九期B)
会計担当部長	野中 滋(十八期C)
	野中 滋(十八期C)
会報担当部長	紘矢(十一期D)
	名簿担当部長
	小林洋一郎(十八期B)
集い担当部長	小野 富雄(二十六期H)
監査	小浜 洋(七期A)
	有賀 慶子(十二期F)
在校OB教諭	湯沢 一夫(二十八期A)
	平岩 了(三十二期I)
常任幹事	柳屋 伸明(三十二期H)
	石崎 英雄(新四期F)
	中尾 充宏(七期F)
	井上英美代(十五期G)
	木内 房代(十七期F)
	梶野 茂男(十九期A)
	田中 良長(二十一期D)
	山口真樹子(二十一期D)
	飯沼 美雄(二十三期C)
	渡部 曜(二十三期H)
	榎 恒一(二十六期F)
	相川 政美(二十八期A)
	根本 敏孝(二十八期G)
	和賀 輝代(二十八期G)
	河野 一郎(新二期A)
	横沢 靖夫(新二期C)
	太田 敏夫(新三期A)
	林 敏子(五期D)

※印は新任

第十回同窓生の集いに多数参加

平成十四年度の「同窓生の集い」は、十月十九日(土)、二時から母校の視聴覚教室で開催された。卒業五十一年の四期(昭和二十七年卒)八十名、卒業二十五年度の二十九期(昭和五十二年卒)五十六名が招待同窓生として参加。また高木校長先生や同窓生も駆けつけ、合計百八十七名の多数の出席のもとで開かれた。若尾副会長の司会で開会し、榎本同窓会新会長の挨拶、高木校長からの祝辞をいただき、太田敏夫顧問(新三期A)の発声のもとで乾杯し、パーティに移った。当日は、この学年を担当した中田重成、菅野二郎、橋高信、熊谷重明、太田三郎、鈴木寛次、亀井寿子の七先生も出席いただき、同窓生と文京時代の思い出話に花が咲いた。恒例のビンゴゲームの後、翌年も再開の



卒業25年の二十九期参加者

約束である「みんなの輪」で盛会のうちお開きとなった。
今年十月十九日(日)、午後二時から母校で開催される。開催案内は裏表紙をご覧ください。

校舎に隔世の感を抱く

新四期F組 石崎 英雄

私たちは、卒業五十一年経過を記念して文京高校「同窓生の集い」に招待された。思い起こせば入校から卒業まで戦禍で焼失したまま学舎をもたず、水道橋の元町小学校に寄寓させていただき、卒業式のみ当地に建設された体育館で挙行了した思い出しか持たない私たちのほとんどが、現在の校舎を見て、隔世の感を抱いたことは不思議ではない。また五十年ぶりに会った旧友もいて、本当に懐かしく意義深い機会を設けて頂いた。

第二会場のホテル・ベルクラシックでは、八十七名の盛大な同期会となった。この会場では恩師である田崎、菅野、中田各先生が元氣なご様子でご出席いただき、まさに驚きと感激で一杯となった。七十に近い私たちがまるで十八才の少年に戻ったような感覚の中、会は大いに盛り上がった。先生を中心に写真を撮り、半世紀の経過を忘れてお互い昔に浸りながら、三年後の再会を約して閉会となった。文京高校は校長先生をはじめ各教師が一層のレベルアップを図って奮闘努力されていると聞いた。同窓会も益々発展して、その一助となって支援を続けていただくよう切望してやまない。

二期A 湖山 聖道

・医療法人社団 湖聖会 理事長
銀座医院/銀座健康管理センター
健康倶楽部銀座/健康倶楽部北野
〒104-0061 中央区銀座7-13-15
Tel. (03) 3541-1151
・湖山医療福祉グループ 理事長

虎の門 日比谷クリニック
(人間ドック・消化器(胃カメラ)・泌尿器)
肛門・痛風 各科専門医担当

一期C 山中 秀男

自宅 〒152-0002 目黒区本町4-8-20
Tel. 03-3714-9513
医院 〒105-0001 港区虎ノ門1-1-20
Tel. 03-3508-2508

野村医院
院長

一期B 野村 総一郎

〒302-0017 取手市桑原1081
Tel. 0297-74-8811

静谷クリニック (内科)

四期B 静谷 晴夫

〒170-0001 豊島区西菓鴨4-6-2
病院 Tel. 03-3910-1136
自宅 Tel. 03-3910-1219

光陰矢の如し 今を大切に!!
医療法人代表・税理士

四期C はいばら 富士雄

〒115-0042 北区志茂1-17-13
Tel. 03-3901-8554

小室産婦人科医院
院長

三期E 小室 陽一

〒114-0021 北区岸町1-12-22
病院 Tel. 03-3907-0303
自宅 Tel. 03-3907-0280

大橋耳鼻咽喉科医院

5期B 大橋 順二

〒114-0023 北区滝野川6-9-11
Tel. 03-3916-8787

医療法人 社団 汀会津田沼病院
理事長・院長

8期D 梶本 伸一

〒275-0016 習志野市津田沼1-18-45
Tel. 0474-79-2611
Fax. 0474-73-5075

静谷歯科医院 (歯科一般)

4期D 静谷 栄夫

〒170-0003 豊島区駒込3-11-3
Tel. 03-3915-1108

「同窓生の集い、招待学年」
女子第一期生〓そして五十年

五期C組 長谷川 節子
(旧姓大郷)

文京高等学校女子の第一期生……そして、五十年、走馬灯の様に過ぎ去った五十年が、目の前を走り過ぎます。

私達は昭和九年生まれと、十年の早生まれの人々です。思い返すに、文京区の元町の小学校に間借りしたことから始まり、三年生の時あの広い豊島区大塚の地に、胸にいつばいの夢を抱いて、移動しそして卒業して行きました。広い校庭の先に都電が走っている風景が、今でもとても懐かしく思い出します。

真つ黒な男性の中に

初めて女子が入学

文京高等学校が産声をあげて三年目、真つ黒な男性の中に初めて女子が百人程度入学したのでした。それが私たちだったのです。丁度五十年前になるのですね。私たちは新制になって三年目の学年だったようです。

思い返しますと、私達が小学生の時、第二次世界大戦の末期で、物の何も無い、本当になんにもない時代でした。米櫃にはお米が少ししかなく動物性の食べ物はほとんどありません。甘い砂糖などはまったく無く、今出回っている様なお菓子など想像もつきませんでした。肥った人など一人も居ませんし、玉子が一個あれば家族皆で分け合って食べたものでした。そして小学校五年の時、敗戦。暑い夏のことでした。八畳間に六十ワットの

テレビなどなく、ラジオもピーピー、ガーガー雑音入りでした。当然民放などありません。

急ごしらえのベニヤ板の更衣室

昭和二十五年、晴れの高等学校一年生として先に書きました元町小学校の校舎を借りて、入学しました。そこには男子ばかり六百人の二年、三年生がいて、そのなかに女子約百人を含む一年生三百人が仲間入りしました。文京高校としては初めての女子が入学したのです。A組からF組まで六クラス、五十人の中に女子はわずか十三人でした。初めて女子が入って来たので、急ごしらえのベニヤ板の更衣室が思い出されます。これが五十年前の文京高校です。兄弟以外はあまり男子と接したことのない私達が、男子の中に入り込んでいったのです。クラスでは知らん顔の男子、何となく興味がありそうなひと、親しく話しかけてくる男性、女子も又同じでした。ともかく、とても楽しかったことを思い出します。

それから五十年、人それぞれでしょうが、いろいろなことが言葉に言い尽くせない程ありました。現在は子供三人と孫六人に囲まれ、お蔭様で身体はいたって健康でございます。同級生の皆様も、それぞれの人生五十年、プラス十八年をお過ごしになり今日に至っていらっしゃるのですね。先生始め職員の方々そして卒業生の皆様、この後も御身体大切にされ、長い人生を楽しく生きてくださいませ。心より希望しております。

今年卒業五十年で同窓会の集いへ招待されます。都合があれば、皆様に再会できるのを楽しみにしています。

株式会社 サトウケミカル
医薬部外品製造販売/化粧品製造販売

4期C 佐藤 佳男

〒352-0002 新座市野火止 8-16-7
会社 Tel.048-481-2323
自宅 Tel.048-474-8456

社団法人 日本詩吟学院岳風会
総伝・正師範

4期E 榎本岳迎(幸三)

漢詩・和歌・俳句・新体詩
吟詠を楽しみませんか。

連絡先 TEL・FAX 03-3489-7591

老人保健施設 北埼玉ヘルスケアビレッジ
理学療法士 医療法人 純真会

5期E 椎名 健二

施設 〒349-1212 北埼玉郡北川辺町麦倉191
TEL 0280-62-3455
FAX 0280-62-3700
自宅 〒112-0005 文京区水道 2-11-4
TEL 03-3943-3912

講師 神田 甲陽

(平成元年山陽師匠より真打ち認可)
サラリーマン講談と名打って全く新しいジャンルの文学講談を確立する。
「救ライの母・小川正子の生涯」など
3期B 末利光 Tel. 055-253-8772

自動車ジャーナリスト
NPO法人・RJC AJAJ会員

5期B 福永 頌

(筆名 鈴木 五郎)

〒186-0003 国立市富士見台 1-28-1-35-403
Tel.042-577-3750

古流松慶会家元・会長
千家表流茶道宗家

5期D 若林 百合子

〒113-0022 文京区千駄木 2-31-4
(自) Tel.03-3821-9476
(勤) Tel.03-3827-7018

スペイン王立舞踊演劇高等芸術学院
(コンセルパトリオ・デ・マドリー)公認師範
フラメンコ舞踊

21期G 小林 伴子

スタジオ

〒171-0033 豊島区高田 3-13-8
ヨシミビルB 2
Tel & FAX 03-3980-5658
http://www.la-danza.net

村口 昌之 建築家 5期B



日本工業大学 建築学科教授

SPACE CONCEPT

TEL. 03-5701-2131
FAX. 03-5701-2132

e-mail: sconcept @ mxl.alpha-web.ne.jp

花と式典
株式会社 杉元
代表取締役社長

7期B 松下 健一

〒113-0033 文京区本郷 5-2-2
TEL 03-3813-5601
FAX 03-3813-5604

第一回文京笑涯楽習の会

赤坂先生の「特別授業」に
二十六名が出席

文京落研OBが中心の「文落連」は、落語界の看板である三遊亭円窓師匠（十一期）が以前から提唱している「笑涯楽習会」に「恩師を招いて母校で授業を」の運びとなり、第一回の会が三月十五日に文京高校で開かれた。当日の先生は赤坂先生で「落語に学ぼう、楽しい日本語と処世訓」と題して文楽連十六名をはじめ二十六名が出席し開催された。

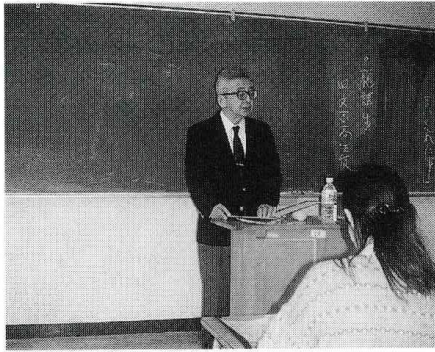
赤坂先生の登壇、学級委員の金子さん（十一期）の合図で一同起立、礼の後、授業が開始。先生は開口一番「マツ、文楽連の集まりに英語やイラク問題を論じてもナンでしょうから」といきなりの江戸っ子赤坂節。まずは三省堂の新明解国語辞典から「隠居」「庶民」「世間知」などの落語的単語の解説。ここからが本題。古典落語の「既火事」。ご存知とっさ

の時につい出てしまう人間の本心をネタにしたお話し。続いて「尻取り文句」です。江戸後期から明治にかけて作り継がれた子供の言葉遊びなんだそうです。その一部を紹介しましょう、

「チャンやおつかあ四文おくれ、お暮れが来たたらお正月、お正月の宝船、宝船には七福神、神功皇后竹ノ内、内田は剣菱七つ梅、梅松松は菅原で（菅原伝授手習鑑）、薬で東ねし投げ島田、島田金谷は大井川、可愛けりやこそ神田から通う（紺屋高尾）、通う深草百夜の情け（小野小町）、酒と肴で六百出しましよ、」

単に語呂つながりだけではなく、芝居、落語、和歌などの意味が重なっているわけです。絵入り尻取りの瓦版を読んだ後、脳のコールドダウンにAKASAKAなど回文で遊んで授業を終了。さらに教えを請うた生徒に、「こんなにペンジを受ける覚えはない」と吹きながら、最後に専門の英語関連でローマ字表記の納得の教えがあり、授業は大切り。大塚北口・鳥忠での移動学食のお楽しみへと移りました。学食ではご禁制の飲み放題、旨い肴の食べ放題で大いに盛り上がり、圓窓師匠も「はっチャン」と呼ばれ円いお顔が益々まあるくなられたようでした。先生の饗饗として洒落な授業は面白くて楽しくて時間の経つのが何と早いこと。隠居になつてこそ知る字ぶ楽しさを存分に味わわせていただきました。（十七期、浮島恵子）

「文落連」へのお問い合わせは阿久津博（十七期）まで FAX: 047-338-2629
E-mail: hiroshi5ank@hotmail.com
三遊亭円窓師匠のホームページ「だくだく」
http://www.dab.hi-ho.ne.jp/ensou/



赤坂先生、久びきの文京での授業

勝村建設株式会社
代表取締役副社長
5期D **市川英雄**
本店建築本部工事支援部長
23期G **山ノ内裕**
〒110-8661 台東区根岸1-2-13
Tel. 03-3876-0111 (大代表)
Fax. 03-3876-6900

植村設計事務所
一級建築士
7期D **植村邦夫**
〒113-0001 文京区白山1-29-10
Tel. 03-3811-6612

鉄筋コンクリート
鉄骨建物、木造住宅、店舗、デザイン・設計・施工
総合建設業
武商事株式会社
10期B **武禎一**
Tel. 03-3941-2621
〒112-0006 文京区小日向2-19-10

宝建設株式会社
代表取締役
11期C **二瓶鋭二**
〒170-0002 豊島区巢鴨3-25-10
TEL. 03-3917-5446

26期F **株式会社 正方形**
graphic design lab
〒160-0004
新宿区四谷4-29-9
しんまつビル7F
phone: 03-3350-0721
facsimile: 03-3350-0723
e-mail: shigeta@seihokei.co.jp

母校近くで建築、不動産業を営んでいます。
先代より創業50年になりますが、文京高校時代の恩師、先輩、友人に恵まれ、日々感謝の心で歩んでいます。
〒170-0004 豊島区北大塚2-27-3
(株) 富士建 代表取締役 Tel. 3910-3208
13期C **鈴木孝**

M's 有限会社 エムズ
新築からリフォームまで
NPO法人日本耐震防災事業団加盟
一級建築士・耐震診断士
26期H **吉野正一**
〒113-0022 文京区千駄木2丁目48番6号
tel. 03-5815-5078
fax. 03-3824-4340

 **SAKAKI Architects Office**
榎建築事務所
建築設計・監理
NPO法人日本耐震防災事業団理事
一級建築士・耐震診断士
26期F **榎恒一**
〒174-0071 板橋区常盤台4丁目5番18号
tel. 03-3936-9991
fax. 03-3936-9992

不動産売買・賃貸・仲介
株式会社 トウリハウジング
代表取締役
30期G **山田正明**
〒115-0045 北区赤羽2-16-10
エバーグリーン2F
TEL. 03-5249-7115
E-mail: yamada@touri-h.co.jp

渋谷常助先生墓参ツアー

六月二十八日(土) 朝七時果鴨発。バスは一路山形へ：
平成十年七月、故渋谷常助先生七回忌の席上で、山形市内で旅館を経営されている甥御さんの「皆さん、是非、山形へいらしてください！」の一言が発端となり、岸山和義氏(二期)の発案で早速、翌年から「渋谷常助先生墓参ツアー」と称して、奥様のタマさんを中心に、バレー部、バスケット部のOBを中心に、渋谷先生を偲ぶお墓参りと山形観光のツアーも、早いもので今年で五回目を迎えました。

ボク、ボク、ボク、ボク、ボク、ボク……これはお寺の僧侶のお経に合わせて、みんなで叩く木魚の音。変わった嗜好のお寺だなど、最初は遠慮がちに叩いてい



まん中がタマ夫人

たものの、五回目ともなれば結構これが快感！お経の間にはお坊さんの歌も入り、南無阿弥陀仏を唱えながら、一人一つずつあてがわれた小さな木魚を思い切り叩きながら、日ごろの煩惱を振り払いとにかくストレス解消！ おかあちゃん(タマ夫人)の、「渋谷先生は、楽しいことが大好きだったから、きつと喜んでやるよ」のお言葉に、今年もみんなで、ボク、ボク、ボク、ボク、ボク……

上山温泉で一泊して、

さくらんぼ狩り

今回は都合で上山温泉でしたが、いつもはおかあちゃんの実家でもある旅館に泊まります。ご主人はおかあちゃんの甥にあたりますが、田中邦衛の弟みたいな風貌で、ユーモアのセンス抜群のユニークで実に楽しい方で、このご主人を交えてのひと時も、旅の楽しみの一つです。

天真爛漫で、根っから明るいおかあちゃん、そのおかあちゃんが、毎回、帰る頃になると「楽しかったねえー、今度はいつ行くんだい」とこの旅行をととても楽しみにしていてくれます。それを聞くとおかあちゃんが元気なうちは続けていけたらと思わずにいられません。

去年から、さくらんぼ狩りの季節に合わせて計画してもらっていますが、お腹いっぱいさくらんぼを食べ、山ほど買い込んで、渋谷先生を偲ぶという主旨で出会った方たちと一緒に、この「渋谷先生墓参ツアー」結構、楽しんでます。次回は、もっと仲間を募って参加できたらいいなと思っています。(十一期、二瓶鏡二・十九期、大野公代)

弁護士

二期D 原田 策 司

〒104-0061 中央区銀座7-5-4
毛利ビル4F
原田・井野法律事務所
Tel. 03-3571-1780

弁護士

7期D 大辻 正 寛

事務所 〒102-0073 千代田区九段北1-9-14
九段ハイム707号
Tel. 3239-4099
Fax. 3221-9460
自 宅 〒274-0072 船橋市三山1-11-15
Tel. 0474-75-9401

有賀慶子税理士事務所

税理士

12期F 有賀 慶 子
(野口)

〒101-0051 千代田区神田神保町2-14
朝日神保町プラザ 807号室
TEL. 03-3221-0375

宮本智法律事務所

弁護士

18期H 宮 本 智

〒169-0074 新宿区北新宿1-8-23
アムハードビル7F
事務所 Tel. 03-5386-6911(代)
自 宅 Tel. 03-3926-5354

弁護士

25期F 藤 澤 知 之

〒170-0002 豊島区巣鴨3-21-16
大坂屋ビル2階
藤澤法律事務所
Tel. 03-3949-3770 Fax. 3771

大橋特許事務所
弁理士

17期E 大 橋 邦 彦

〒113-0033 文京区本郷5-1-16
NP-IIビル11階
事務所 Tel. 03-3814-5921
自 宅 Tel. 03-3957-1533

弁理士

19期H 堀 田 実

アサ国際特許事務所

港区芝5-26-20
〒108-0014 建築会館4階
TEL (03) 5476-6355
FAX (03) 5476-7244
E-mail: asa @ pp.iij4u.or.jp

同窓有志のサロン 市 三 会

会員100名。毎月の夕食会は銀座レストラン、春の講演会(今年は12期・杉本安弘「銀の話」)、秋のグルメ旅行、忘年会、新年会を通して親睦を図る楽しい会です。来年30周年につき旧制、新制会員拡大キャンペーン実施中。お申し込みは葉書、電話、メールにて。

代表 末 正明(一期B) 〒112-0004 文京区後楽2-6-1
tel: 03-3811-0755 e-mail: ichisankai @ aol.com

野球部後援会・球紫会

《会員募集》

母校が甲子園に出場したら、「私の母校なんです」と野球部OBに限らず卒業生の誰もが言ってしまうほど、インパクトのあることです。そこで四年前に野球部後援会が作られ、広く文京高校関係者のご協力をお願いしております。

現在会員は百四十八名で、年会費三千元を現役強化費や会報の発行に使用しております。

またホームページを設置し「文京高校」で検索すればトップで表示されるまでになりました。今年から会員の共同作業で観戦スタンドを制作し、応援に来る方に好評です。注目された今年の夏季大会は残念ながら二回戦で敗退しましたが、ぜひ母校甲子園出場の実現すべく皆様のご協力をお願いします。

また今年からフィジカル・トレーナーに立石善光氏(二十九期)が就任して選手のケアをしています。

http://members.jcom.home.ne.jp/kyushikai

問い合わせ・事務局

〒174-0084 板橋区宮本町17-7

TEL:03-6789-2574 FAX:03-3966-2523

E-mail: kyushikai@jcom.home.ne.jp

会費振込先・郵便振込 00190-6-553860

「都立文京高校 球紫会」

代表世話人 小林洋一郎(十八期D)

●夏季大会二回戦七月十五日(神宮球場)

文京1-4 東海大高輪台

新二期Aの会からのお知らせ

平成十六年四月十六日(金)午後五時から、A組主催の懇親会をかんぽヘルスプラザ東京にて開催します。

新二期の会(同期会)役員交替

平成十六年度から、代表・西村英一、事務局・長瀬源太郎(広報)、倉田勇(会計)の三君で活動します。

故奥山氏(旧一期D)の一周忌に

著書「メディアの発達史」刊行

奥山滋氏は昭和二十年本校卒業後、東京工業専門学校(現・千葉大学工学部画像工学科)に進学・卒業した。その後、奥山氏は東京工芸大学工学部画像工学科教授となった。平成十三年三月年退職(同大学名誉教授)し、永年の研究から得た知識と経験を基に「メディアの発達史」をまとめるべく執筆に精を傾けられた。

一万五千年前のフランスのラスコー・スベインのアルタミラの洞窟壁画から説き起こし①絵画と文字と印章②パピルスと紙③印刷のあけはら④文字印刷のひろがり⑤版画のあゆみ⑥マスコミュニケーション⑦写真の誕生⑧絵画の網点化⑨カラー画像の分解と再生(奥山先生の最も得意分野)まで筆を進めたが、体調を崩され平成十三年十月三十日心不全で他界された。

偶然にも⑩メディアの多様化・複合化の見出しがあったことから美紗子夫人と奥山教授の教え子たちが一周忌に「メディアの発達史」を刊行され、墓前に供えられた。

高千穂産業株式会社
代表取締役

10期A 若尾 迪 治

〒114-0014 北区田端3-15-3-106
(会) Tel.03-3822-1421
(自) Tel.03-3827-3200

二期A 樋口 良 雄

〒112-0011 文京区千石1-24-11
Tel.03-3942-0450

株式会社 末商会 専務取締役
(出光ガソリン・貸ビル・自動車販売整備)
NPO法人 小石川後楽園庭園保存会 理事長
一期B 末 正明(市三会会長)

本社 〒112-0004 文京区後楽2-6-1
Tel.03-3811-0755
Fax.03-3815-7818
飯田橋 Tel.03-3269-0257 神保町 Tel.03-3261-5111

TAS

代表取締役社長

12期F 瀬戸 襄

東亜エアサービス株式会社

〒144-0041 東京都大田区羽田空港3-5-1

JAS M1ビル

Tel:03-5756-8700 Fax:03-5756-8716

E-mail:n.seto@tas-tyo.co.jp

座席予約・案内 フリーダイヤル

日本航空 国内線0120-25-5971 国際線0120-25-5931

日本エアシステム 国内線0120-5-11283 国際線0120-7-11283

JAL GROUP

東京ガス株式会社

取締役常務執行役員

導管・保安部長

12期C 小林 剛 也

(勤)〒105-8527 港区海岸1-5-20
TEL 03-5400-7525
(自)〒112-0002 文京区小石川3-4-19
TEL 03-3816-0803

コンビニエント・リカーショップ モンマートみかわや
のみたべや和飲酒家 三喜亭
代表取締役

26期H 小野 富 雄

日本ワインコーディネーター協会認定ワインコーディネーター
e-mail: tomiio_mon_g@jp.bigplanet.com

(本店) 〒113-0033 東京都文京区本郷6丁目22番6号
TEL 03(3811)0204 FAX 03(3811)1871
(三喜亭店) 〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目1番5号
石渡ビル2階 TEL・FAX 03(3812)5061
http://www.monmart.co.jp/mikawaya.html

写真感光材料工業会
専務理事

12期C 杉本 安 弘

(勤) 〒102-0082 千代田区一番町25
E-mail:kanzai.sugimoto@nifty.com
(自) 〒174-0051 板橋区小豆沢4-11-3
Tel & FAX 03-3966-6056

有限会社 内田 製作所

代表取締役

27期B 内田 誠

MOBILE 090(1992)1358

本社 〒174-0051 板橋区小豆沢2-35-3
第一工場 TEL 03(3966)3596 FAX 03(3966)6822
川口工場 〒333-0844 川口市上青木1-9-18
TEL 048(256)5779 FAX 048(256)5785
E-mail: uchidass@mb.infoweb.ne.jp

株式会社 斉藤商店(精肉・食品卸)
代表取締役

29期F 斉藤 智 夫

〒112-0001 文京区白山5-1-15
Tel.03-3815-5771
Fax.03-3816-2981
Tel.03-3815-0029

卒業生進路状況

1. 15年3月卒業生(55期)の進路

	区分	男子	女子	計
進学	4年制大学	66	63	129
	短期大学	0	17	17
	専門学校	18	47	65
	計	84	127	211
就職	公務員	1	1	2
	民間企業	5	4	9
	計	6	5	11
合計		90	132	222

本年度の特徴は

1) 4年制大学への進学が増加している。一昨年38%→昨年41%→本年45%に。国立大学合格者は新潟大学はじめ6名。

2) 短大進学者は減少。一昨年27名→昨年20名→本年17名。

3) 未定者は減少(一昨年87名・昨年78名→本年62名)しているが、三年生は推薦入試で合格したい傾向が見られる。先生側としてはチャレンジ精神がほしい……という気持ちが残る。

文京の今後の進路課題の一つは、国公立進学希望者への指導強化があげられる。そのために二期制の導入、サテライト講習、夏休み中の補習など改善のための試みが実施されている。これらの実績をうけて重点支援校に指定された。今後を期待したい。

2. 学校別

校名の右数字は現役と浪人の合計数です。

1) 四年制大学

(1) 国公立大学

鹿児島大学	1
佐賀大学	1
新潟大学	1
北海道教育大学	1
山形大学	1
国立看護大学	1
国公立大学合計	6

(2) 私立大学

青山学院大学	2
亜細亜大学	1
跡見学園女子大学	1
桜美林大学	3
大妻女子大学	2
嘉悦大学	1
学習院大学	6
学習院女子大学	2
神奈川大学	1
鎌倉女子大学	1
神田外語大学	1
共立薬科大学	1
杏林大学	1
慶應義塾大学	1
恵泉女学園	1
工学院大学	2
国学院大学	4
国士舘大学	2
駒沢大学	3
実践女子大学	1
芝浦工業大学	7
淑徳大学	3
城西大学	3
尚美学園	1
昭和薬科	2
白百合女子大学	1
聖学院大学	1
成蹊大学	4

成城大学	2
清泉女子大学	1
聖徳大学	2
専修大学	6
創価大学	12
大正大学	2
大東文化大学	12
高千穂大学	3
拓殖大学	6
多摩大学	1
玉川大学	2
千葉工業大学	5
中央大学	3
帝京大学	3
帝京科学大学	1
桐蔭横浜大学	1
東海大学	4
東京家政大学	1
東京経済大学	3
東京工科大学	3
東京工芸大学	2
東京国際大学	3
東京商科大学	1
東京電機大学	7
東京農業大学	1
東京富士大学	1
東邦大学	1
東洋大学	23
獨協大学	5
長岡造形大学	1
新潟薬科大学	1
日本大学	28
日本社会事業大学	1
日本獣医畜産大学	1
日本女子大学	1
日本女子体育大学	1
日本体育大学	8
文化女子大学	1
文教大学	2
文京学院大学	4
法政大学	13

星薬科大学	1
武蔵大学	8
武蔵工業大学	4
武蔵野音楽大学	1
明海大学	4
明治大学	4
明治学院大学	6
名城大学	1
目白大学	3
立教大学	5
立正大学	3
和光大学	1
私立大学合計	279

四年制大学合計	285
---------	-----

2) 短期大学

(1) 国公立短期大学

(公立)	
東京都立短大	1
国公立短大合計	1

(2) 私立短期大学

青山学院女子短大	1
大妻女子短大	2
川村短大	1
共立女子短大	1
恵泉女学園短大	1
順天堂医療短大	1
昭和女子短大	2
杉野服飾大	1
聖徳短大	1
東京家政短大	3
日本短大	1
文化女子短大	2
文京学院短大	1
宝仙学園短大	1
明治短大	1
私立短大合計	20

短期大学合計	21
--------	----

奨学賛助金に58名が協力、41万余集まりました。

平成15年3月卒業生(第55期)のうち、学校側で選んだ成績優秀者69名に対し、図書券(1万円分)を贈りました。

◇奨学賛助金 協力者一覧

平成14年4月～15年3月(1口5,000円)

5万円	宮川美智子	25C	5千円	植村耕作	3E
				蟹谷栄一	3E
2万円	榎本幸三	4E		大井久夫	4B
	浜口宣子	6C		隅田幸男	4C
				野本林	4E
1万円	木村欽一	2A		高松昭	5B
	細田純生	3C		椎橋章二	6A
	清水一彦	2A		多田實	6B
	白川隆夫	2B		清野公夫	6B
	堀内勝彦	2D		宮崎充弘	7D
	梅澤隆子	8A		鈴木秀男	8B
	梶本伸一	8D		毛利寿男	8E
	武田 晃	9F		吉田靖雄	9B
	内山盛雄	11A		大塚和子	10A
	豊田耕一	11A		田畑寿子	10B
	飯田敏子	11E		秋元公美子	12B
				生駒和彦	12D
5千円	八木俊雄	1C		園部 禮子	12E
	伊藤昭彦	2B		野口政則	13D
	山下雅央	2B		太田正明	14B
	藤ヶ谷敏明	3C		富岡吉勝	14F
	福田実	3D		今関淳子	18D
	新倉和夫	3E		中山道子	19F
	後藤正八郎	3E		堀田実	19H
	小室陽一	3E		川上登美子	23C
	舟橋二郎	4B		栗城喜三代	25I
	菊池達長	4C		鈴木淑子	27D
	大蔵丈太郎	2A		関本志貴	27H
	森理	2A		近藤辰紀	52F
	東幹夫	2D			
	尾形悦郎	2D	3千円	時國匡夫	②E

(卒期の漢数字は旧制中学卒、洋数字は高校卒です。)

◇その他寄付

8万円	4期同期会	3千円	太田敏夫	3A	
3.6万円	静谷晴夫	4B	1千円	高橋きみ子	7A
1万円	竹内道雄	先生		吉川典紀	11B
5千円	菅野二郎	先生			

運営協賛金に176名の出資、72万余集まりました。

◇同窓会運営協賛金への協力者一覧

平成15年4月～15年3月

5万円	龜山秀雄	20H	鱒沢恒雄	4A	吉川典紀	11B
			舟橋二郎	4B	田卷正彦	11C
3万	榎本幸三	4E	橋本茂	4C	飯田敏子	11E
			菊池達長	4C	宮崎顕作	11F
1万8千円	伊東映二	4C	藤澤豊彦	1A	三井善徳子	11F
			森理	2A	橋本治子	12A
1万5千円	金田輝男	11B	高橋善一郎	2A	佐藤公博	12C
			河野一郎	2A	生駒和彦	12D
1万円	原 巍	1B	大蔵丈太郎	2A	村田祐	13B
	白川隆夫	2B	稲田進二	2A	杉本トシ子	13B
	小林順子	6C	森康全	2B	石渡博之	13B
	小豊田耕一	11A	濱田矩彦	2B	深沢文雄	13C
9千円	庄司博夫	7F	横沢靖夫	2C	永田英志	13C
	増子隆	13A	長谷川徹	2D	鈴木孝	13C
			尾形悦郎	2D	栗又俊二	13C
6千円	島田豊	1C	東山沢夫	2D	大武茂	13C
	堀口壬也	2B	矢島光春	3B	和田信男	13D
	細原純三	3C	黒岩禎	3C	野口政則	13D
	篠原純三	3C	中村建美	3D	佐々木浩子	13E
	清水一彦	2A	矢島稔	3E	宇野峰子	13E
	浜口達子	6C	蟹谷栄一	3E	福原資朗	13F
	中谷達次郎	8D	岡本一彬	3E	上田雅芳	13F
	堀尾希美枝	9A	石渡弘	3E	多賀玲子	14B
	内山盛雄	11A	横田哲也	4A	猪瀬明敏	14B
	園部 禮子	12E	川本幹雄	4A	亀井幾	14D
	永井陽子	12F	大井久夫	4B	梅原成晃	14D
	早野典子	19A	隅田幸夫	4C	栞田忠己	14F
			磯部甲太郎	4D	富岡梯二郎	14G
			野本林	4E	生沢まさ子	15C
			加藤寛	4E	菊地賢三	16G
5千円	小室陽一	3E	工藤晶巨	5B	小高尚子	16H
	林敏子	5D	伊藤泰子	5C	芹田栄之	17A
	川村幸子	13E	坂井光子	5D	落合レイ子	17E
	田中道子	19F	高木聰輔	5D	望月日出男	18A
	川島洋子	22G	椎名健二	5E	柴山一行	18A
	羽場弘明	27C	矢野雄司	5F	稲見一郎	19A
	渡部早苗	38G	天津進	5F	中山道子	19F
			川田弘	6A	田村幸男	19G
			木下昌宏	6B	堀田実	19H
			岡部好成	6C	木股三善	19I
			杉山登代子	6F	河原仁	20C
			増田操	7A	渋谷徳幸	21B
			小林美一子	7A	嶋方猛	22F
			風柳正男	7A	川上登美子	23C
			小串玲子	7B	匿 名	25
			宮崎充弘	7D	泉水純子	26F
			山崎翠	8B	中島安咲子	26I
			鈴木秀男	8B	関本志貴	27H
			西田信嗣	8C	西田敦子	28F
			梶本伸一	8D	大久保英一	30C
			梶本寿男	8E	平田由紀子	31F
			所矩雄	9A	青木俊之	31G
			吉田靖雄	9B	宮崎茂幸	34I
			山本弘子	9B	小室雄二	36B
			渡辺久	9C	戸井由由	40H
			佐野雅英	9C	安武義昭	41C
			寺田一雄	9E	沖山愛美	54D
			武田 晃	9F	鱒目順介	54E
			鈴木政和	10C	3千円未満	
			大塚紀夫	10C	木部美香	41F
			岡村良子	11A	青山一郎	11C

編 集 後 記

「夢を叶える通り道《努力の汗、感動の涙、僕らの本気が文京（ここ）にある》▼これは新しく創られた文京のキャッチコピーですが、高校生活の三年間は受験・部活・恋愛・恋愛など青春時代の通り道であり、人々には数多くの思い出のある時代です▼年に一回お手元に届く本誌は、その文京で過ごした多感な時代を呼び起こすきっかけになるものです▼今号は各年代それぞれの先生にご登場願ひ、当時の教育に対する思い、授業や部活等の思い出、文京後のご活躍、最近のご様子などを伺いました。ご多忙なところご協力頂きこの場を借りて御

礼申し上げます▼六月から文京高校のホームページが立ちあがります。榎本会長も方針の一つとして「新メディアへの積極対応」を打ち出し、現在同窓会ホームページの今秋立上げを準備しています▼本誌はレイアウトを変更し、文字は少し小さくしました。高齢化時代には反しますが、できるだけ数多くの情報を掲載するためです▼さらに本誌やホームページがクラス会や同期会、また部活仲間の連絡などの掲示板として活用されて、会員同士の文京時代の絆の復活に役立てばと思います。皆様方のご意見、情報等をお待ちします(え)

平成15年度予算

[平成15年4月1日～平成16年3月31日]

会 長 榎 本 幸 三 (4期E)

〔財産目録〕	
〔預金合計〕	42,339,472円
基 本 財 産	
信託預金・定額貯金等(据置き)	34,270,020
奨 学 基 金	
(据置き)	7,269,132
周 年 行 事 積 立 金	800,320

〔収入合計〕	
前 年 度 繰 越 金	4,388,101
入 会 金 (終身会費)	
(16,500円×284名)	4,680,000
預 金 利 息	10,000
奨学賛助金・運営協賛金等	1,730,000
同窓生の集い会費等	80,000
〔支出合計〕	6,500,000円
名 簿 発 行 費	
400冊・枚葉(449組)	1,200,000
会 報 (紫笥) 発 行 費	
印刷・発送費・郵送料・振込書・封筒等	2,500,000
奨 学 基 金	
図書券(10,000円×60名)	600,000
母 校 後 援 費	
部活動・進路指導等	600,000
同窓生の集い開催直接費	650,000
校 歌 祭 後 援 費	120,000
慶 弔 費	50,000
幹 事 会 費	
通信・交通費・飲物代	130,000
運 営 費	
通信・交通・会合費・用品代等	250,000
名簿管理用コンピュータシステム費	100,000
予 備 費	100,000
積 立 金	
周 年 行 事 積 立 金	200,000
〔繰越金〕 期初運営費	4,388,101円

同窓会活動にご協力を!

同窓会は市立三中・豊島中・文京高校で学んだ者たちの会です。「同窓会」を再認識して下さい。70歳代～18歳までの利害を離れた会で、新たな友情が生れる場となるでしょう。協力の仕方としては次の様な方法があります。

1. 運営に協力……常任幹事となり、母校・同窓生のために智恵と汗を出す。
2. 資金的協力……本誌同封の郵便振替票を利用し、資金を拠出する。
3. 名刺広告を出す……1コマ1万円です。40～50歳代の若い方の応募を期待します。

平成14年度会計報告

[平成14年4月1日～平成15年3月31日]

会計担当 榎 本 幸 三 (12期B)
野 中 滋 (18期C)

〔財産目録〕	
〔預金合計〕	41,139,472円
基 本 財 産	
信託預金・定額郵便貯金等	33,270,020
奨 学 基 金	7,269,132
周 年 行 事 積 立 金	600,320
〔物 品〕	
金庫2・手提げ金庫1・ストープ1・ 書庫4・机2・椅子1・カメラ3・ 三脚1・ワープロ(シャープ書院)3	

〔収入合計〕	
前 年 度 繰 越 金	4,901,657
入 会 金 (終身会費)	
(16,500円×284名)	4,685,265
預 金 利 息	4,452
奨学賛助金・運営協賛金等	1,672,000
同窓生の集い会費等	66,000
そ の 他 寄 付 等	139,000
〔支出合計〕	6,080,273円
名 簿 発 行 費	
400冊・枚葉(442組)	1,114,791
会 報 (紫笥) 発 行 費	
印刷費・郵送料・発送費・振込書・封筒等	2,414,017
奨 学 基 金	
図書券(10,000円×69名)	690,840
母 校 後 援 費	
部活動・進路指導	487,865
同窓生の集い開催直接費	611,086
校 歌 祭 後 援 費	120,315
慶 弔 費	32,100
幹 事 会 費	
通信・交通費・飲物代	148,499
運 営 費	
通信・交通・会合費・用品代等	260,760
予 備 費	0
積 立 金	
周 年 行 事 積 立 金	200,000
〔繰越金〕	5,388,101円

平成15年4月2日 会計監査

監査の結果正確であることを認証致します

小 浜 洋 (7期A) ㊞
有 賀 慶 子 (12期F) ㊞



10月19日(日)、第11回 同窓生の集い

卒業50年(5期)、卒業25年(30期)はご招待!

平成5年10月に始めた“同窓生の集い”は今年11年目を迎え、同窓会の活性化に直結する行事として、同窓会3大事業の一つと位置付けられています。
会員皆様お誘い合わせの上、多数の方の積極的なご参加を!

日時
場所
内容
費用

10月19日(日) 午後2時～

母校 4階 視聴覚教室

軽食と飲み物で懇親会を行いますので、クラブOB会にもご利用下さい。

2,000円 同封の振込用紙をご利用下さい。(締切/10月8日)

◎ 恩師・旧職員はご招待です。是非ご出席の程お願い致します。

ご招待

卒業50年 → 5期 (昭和28年3月卒業)

卒業25年 → 30期 (昭和53年3月卒業)

上記の期を教えられた先生で、当日ご出席予定は、(順不同)

菅野二郎先生、橋 高信先生、渡井栄一郎先生、朝日良次先生、

三浦義幸先生、高瀬亨子先生、柴崎 勉先生、田村悦子先生

●「同窓生の集い」申込や、運営協賛金、奨学賛助金等は同封の振込用紙をご利用下さい。

- | | | | |
|-------------|-----------|--------------------|-----------|
| 1. 同窓会運営協賛金 | 1口 3,000円 | 4. 「同窓生の集い」申込み | 1人 2,000円 |
| 2. 奨学賛助金 | 1口 5,000円 | 5. その他……目的を明示した寄付。 | |
| 3. 名簿購入代金 | 1冊 4,800円 | | |

●卒業クラスの名簿の空白部分を埋めましょう。また誤り・変更がある場合も同窓会宛、葉書または封書で連絡いたしましょう。(電話不可)

同窓生一人ひとりの小さな心づかい・行動が同窓会活動の基本です。
同窓会への連絡は、下記同窓会宛へお願いします。

『紫笥』第46号・2003年

発行・平成15年9月10日

発行者・東京都立文京高等学校同窓会『紫笥』編集委員会

〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨一丁目一番五号 東京都立文京高等学校内